

# 美川仏壇の伝統を継承する塗師・山本俊光氏

## 光陽仏壇工房（能美）

美川仏壇は石川県知事指定の伝統工芸品だが、その優れた作り手の一人が光陽仏壇工房の山本俊光氏。

昭和二七年生まれの山本氏が仏壇業界に入ったのは二十三歳の時のこと。金沢市内の仏壇店で、習得するのに時間がかか

る塗塗の仕事にスタートさせた。なぜ、この世界に入ったのかという理由をお聞きすると「漆に魅力を感じたから」という返事が返ってきた。

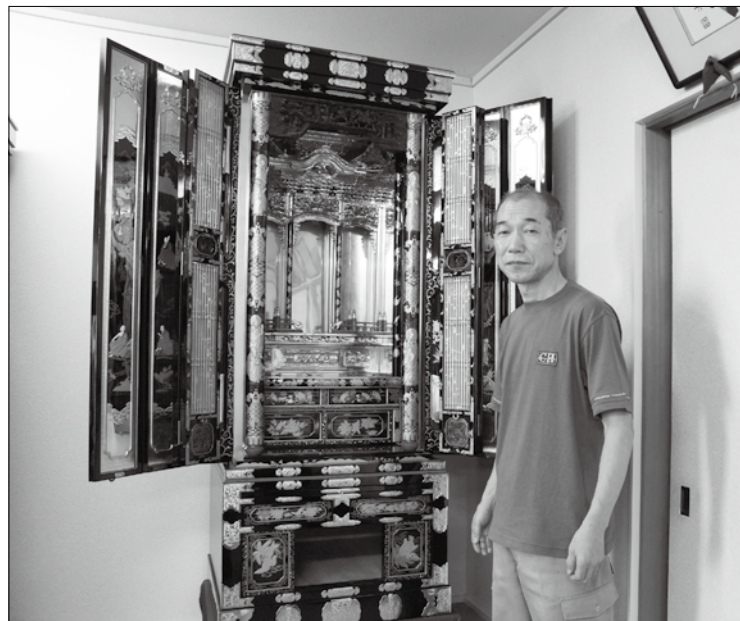
その後独立し、工房を構え、現在の店舗には七年前に移ってきた。以前は自宅と工房が一緒だった。

だが、新店舗は工房と仏壇展示を行う専用の空間だ。

一階には自作の仏壇が展示してある他、都市型仏壇も置いてあるが、「最近のお客様に対応するためには、やはり必要なアイテム」とのことであった。

仕事は美川仏壇の新調の他、修理、寺院内陣の漆箔と手広い。

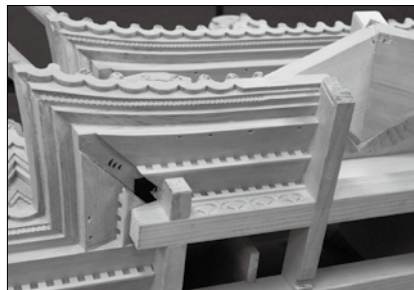
◎光陽仏壇工房 石川県能美市寺井町五六一  
TEL〇七六一（五七）三六〇六 FAX〇七六一（五七）四二五〇



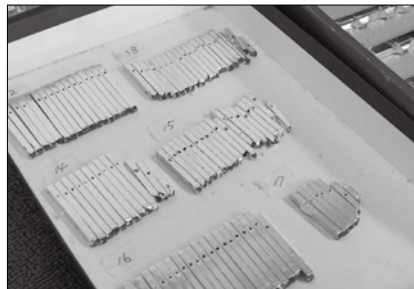
光陽仏壇工房・山本俊光氏  
後ろはもちろん自作の美川仏壇



梨地を施した漆刷毛  
凝り性の山本氏ならではの自作刷毛



美川仏壇の宮殿  
垂木は一本毎にはずれる



修理のために分解し金箔を  
押し直された垂木



輪垂木も一本毎に外れる



石川県伝統工芸士の認定盾  
平成 21 年の認定だ